

フォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～

生涯で二人に一人がかかるとされる“がん”。
手術や抗がん剤、放射線治療など医療技術は着実に進歩しています。
一方で、治療の副作用に悩まされるほか、
長期に渡る医療費を払い続けられるかなど、経済的な課題も浮き彫りになっています。
誰もが患者や家族になりうる時代。
前向きに生きようとする当事者とともに、
医療や社会的な支援の在り方、がんとの向き合い方を考えていきます。

参加者募集中

がんに関する展示・相談コーナーもあります。
お気軽お立ち寄りください。

日時: 2020年 **1月19日** (日)

開場:午後0時30分 開演:午後1時 終演:午後3時45分 (予定)
※途中休憩あり

会場: **神戸芸術センター 芸術劇場**

住所:兵庫県神戸市中央区熊内橋通7-1-13

定員: **500人**

入場無料 事前の申し込みが必要です。
申し込み方法は裏面をご覧ください。

交通 ●JR山陽新幹線/神戸市営地下鉄『新神戸駅』から徒歩約5分
※公共交通機関をご利用ください。

題字/延 哲也 イラスト/マルシェル



主催 ●NHK 厚生文化事業団 NHK エンタープライズ 読売新聞社

後援 ●NHK 神戸放送局 厚生労働省 兵庫県 神戸市 社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会 社会福祉法人神戸市社会福祉協議会 一般社団法人兵庫県医師会 一般社団法人神戸市医師会 一般社団法人兵庫県歯科医師会 公益社団法人神戸市歯科医師会 一般社団法人兵庫県薬剤師会 一般社団法人神戸市薬剤師会 公益社団法人兵庫県看護協会 兵庫県がん診療連携協議会

協賛 ●ツムラ

出演

たの ひろかず
谷野 裕一 パネリスト
神戸大学医学部 先進的がん医療・研究推進学 乳腺内分泌外科 特命教授、
神戸大学附属病院 国際がん医療・研究センター 副センター長

1987年和歌山県立医科大学卒業。慶應義塾大学、メリーランド州立大学の留学を経て2013年より北里大学病院乳腺甲状腺外科准教授。2017年から神戸大学乳腺内分泌外科、2018年から現職。トリプルネガティブ乳がん研究センターを創設し、基礎研究、臨床試験に取り組んでいる。これまで患者との協働で患者会の設立や乳がんの全国調査などを行ってきた。2010年にNPO法人いきいき和歌山がんサポートを立ち上げ、ピアサポート、就労支援などに取り組んでいる。

たむら けいこ
田村 恵子 パネリスト
京都大学大学院医学研究科 人間健康科学系専攻
緩和ケア・老年看護学分野 教授、がん看護専門看護師

1996年聖路加看護大学大学院看護学研究科修了。2006年大阪大学大学院医学系研究科修了（医学博士）。緩和ケアの草分けである大阪市・淀川キリスト教病院で27年間務め、2008年にはその姿がNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で放映。2014年1月より現職。2015年7月からがん患者や家族が対話を重ねて生きる知恵を育む市民活動「ともいき京都」を開始。ケアリングコミュニティの創成を目指している。

おおつか たかこ
大塚 尊子 パネリスト
がん当事者、看護師

1997年39歳で乳がん発症。温存手術、放射線治療。2007年局所再発にて全摘手術、抗がん剤治療。2009年リンパ節転移、骨転移。2015年多発肝転移出現。カテーテル治療、温熱療法、抗がん剤治療と漢方薬などの支持療法にて現在に至る。看護師として36年間勤務していたが、2016年退職し療養に専念。データ上の改善はないが、治療、支持療法、セルフケアマネジメントなどにより体調は良好。現在、ホスピスと患者支援室でボランティア活動をしている。

みやもと なおし
宮本 直治 パネリスト
がん当事者、がん患者グループゆずりは代表、薬剤師

兵庫県出身。12年前、ステージ3の胃がんと診断された。『5年後にはこの世にいないかもしれない』という気持ちの中で「ゆずりは」に入会。2011年より代表。ゆずりはの中心活動として、「どう生きるのか」に迷うがん患者のために、生き方を熟考する場の提供をしている。薬剤師として病院で勤めながら、50歳の時に僧籍取得。死を語ることをタブー視しないことをモットーに、患者に寄り添い耳を傾けるビハーラ僧として、「宿坊で語り合うがん患者の集い」も主宰している。

とどろき ひろみ
轟 浩美 パネリスト
認定NPO法人希望の会 理事長

スキルズ胃がんステージ4患者だった夫の轟哲也が2015年に立ち上げたスキルズ胃がん患者家族会NPO法人希望の会を継承。難治性がんに向き合う患者家族へ、納得して選択するための情報の提供の必要を感じ、積極的に発信。2018年より、他の患者会と共に一般向け啓発活動としてのアクション『グリーンループ』の発起人となり、ショッピングモールでのイベントや動画配信にも取り組んでいる。前厚生労働省がん対策推進協議会委員、中央倫理委員会委員、国立がん研究センター市民パネル委員。

まちなが としお
町永 俊雄 コーディネーター
福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

参加申し込みについて

入場は無料ですが、事前の申し込みが必要です。

参加ご希望の方は、はがき（単信）、FAX、メール（ホームページの申し込みフォームから）のいずれかに

1. **名前（必ず個人名を記入）**
2. **郵便番号・住所**
3. **電話番号**
4. **参加人数**
5. **ご一緒に参加される方の名前（複数名の参加を希望される場合）**を書いて、お申し込みください。

お申し込み先

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル

NHK厚生文化事業団「がんフォーラム 神戸」係

FAX 03-3476-5956 ※FAX番号はお間違いのないようお願いいたします。

ホームページ <https://www.npwo.or.jp>

※当日の入場は『入場整理券（1枚で1人入場可）』が必要です。2020年1月8日頃より、順次、希望人数分を封書でお送りいたします。
※郵便番号、住所は正確にご記入ください。誤りおよび記入漏れがある場合、入場整理券が届かない場合がありますので、ご注意ください。
※個人情報適切に管理し、本フォーラムの連絡のみに使用いたします。

**定員になり次第
締め切ります**

下記欄にご記入の上、そのままFAXにてお送りいただけます。

がんフォーラム神戸	ふりがな ----- 名前 ※必ず個人名をご記入ください。	参加人数 人	< ご一緒に参加される方の名前 >
	住所 〒 ※勤務先住所の場合は、勤務先名も忘れずにご記入ください。		
	電話番号 -----		

お問い合わせ

NHK厚生文化事業団

TEL 03-5728-6633（平日午前10時～午後6時）

※2019年12月29日（日）から2020年1月3日（金）まで年末年始休業とさせていただきます。